

Course number		U-LAS01 20006 LJ38									
Course title (and course title in English)		中国文字文化論 The Culture of Chinese Characters		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,MATSUE TAKASHI					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Thu.2		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)											
[Overview and purpose of the course]											
<p>元来は古代中国語を表記した文字である「漢字」について、その誕生の背景となった古代中国語との関係に着目しつつ概説する。すなわち、漢字の基本的な機能や構造、形態の種類（字体）、さらにそれらの歴史的変遷について、具体例を紹介しながら解説していく。さらに漢字を秩序立てて収録した古代の辞書を資料としつつ、比較言語学的方法を用いることにより古代の漢字音を復元（「再構」）する方法の原理を解説する。漢字文化圏における言語文化の核心とも言うべき「漢字」について、その機能・構造・音韻の各側面を、歴史的観点を踏まえつつ、総合的に理解することを目的とする。</p>											
[Course objectives]											
<p>漢字の機能や構造・字体、さらにそれらの歴史的変遷に関する基礎的知識を習得し、背景にあった古代中国語との複雑な関係を理解し得るようになる。また、古代の辞書を資料としつつ、比較言語学的方法を用いることにより古代の漢字音を復元（「再構」）する方法の原理を理解し、復元された漢字音を自らの研究に応用できるようになる。</p>											
[Course schedule and contents)]											
<p>基本的には以下の計画に従って講義を進める。ただし講義の進捗状況に応じて順序や同一テーマの回数を変えることもある。</p> <p>（一）漢字の歴史的変遷 [第1回～第8回]</p> <p>【第1回】漢字とは何か 漢字基本機能と基本構造</p> <p>【第2回】漢字の起源；殷代の甲骨文と西周の金文（1）</p> <p>【第3回】殷代の甲骨文と西周の金文（2）</p> <p>（甲骨文の発見や解読に関わる基礎知識を紹介し、具体的な用例を講読する）</p> <p>【第4回】小篆と『説文解字』（1）</p> <p>【第5回】小篆と『説文解字』（2）</p> <p>【第6回】隷書の成立と漢字の規範化</p> <p>【第7回】簡体字とピンインの成立</p> <p>【第8回】漢字の文字論的性格の再検討</p> <p>（二）古代漢字音の復元 [第9回～第14回]</p> <p>【第9回】中古音再構成の原理（1）</p> <p>【第10回】中古音再構成の原理（2）</p> <p>【第11回】『広韻』と『韻鏡』（1）</p> <p>【第12回】『広韻』と『韻鏡』（2）</p>											

Continue to 中国文字文化論(2)											

中国文字文化論(2)

- 【第13回】中古音の再構成の実践
(受講者自らが実際に漢字音の復元作業を体験する)
【第14回】上古音再構成の原理
【第15回】期末試験
【第16回】フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点(=出席および授業への積極的な参加、10点)レポート(2回、第1回目30点、第2回目10点)、期末試験(筆記試験、50点)により評価する。

第1回のレポートについては到達目標の達成度に基づき評価し、高い独自性を備えているものには特に高い評価を与える。

[Textbooks]

プリントを配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

大西克也・宮本徹『アジアと漢字文化』(放送大学教育振興会)ISBN:978-4-595-30906

阿辻哲次『図説・漢字の歴史』(大修館書店)ISBN:4-469-23056-1

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回授業が終了するたびに、復習をしておくこと。

必要に応じて、予習を課すことがある(授業中に指示する)。

[Other information (office hours, etc.)]